

今度の日曜日に教会にいらっしやいませんか

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(聖書)

あなたの町の

日本同盟基督教団

伊那聖書教会

address 〒396-0011 伊那市伊那部 4492
(ホテル・センピア向い)
phone (0265) 72-5564 (FAX兼)
http://www.13.plala.or.jp/inabile/
E-mail inabile@amber.plala.or.jp

からのご案内

牧師 大杉 至



伊那聖書教会は正統的なプロテスタント教会で、1952年にアメリカ人宣教師によって開始しました。毎週日曜日には50名前後の老若男女が集って礼拝しています。

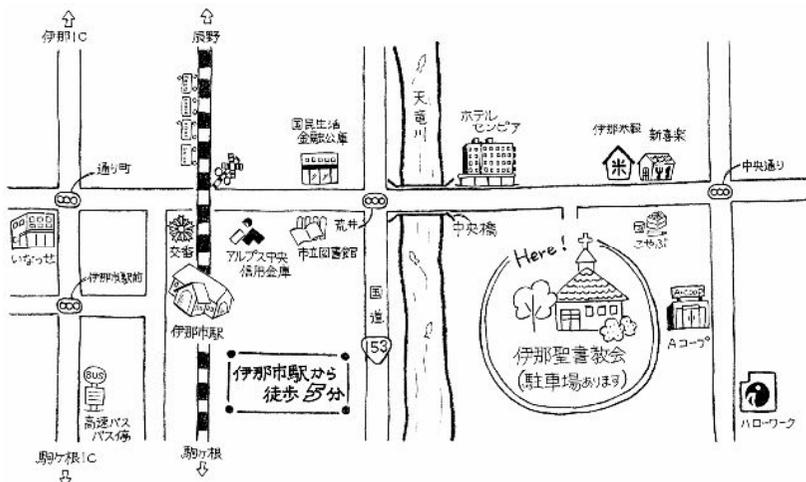
主日礼拝(毎週日曜日) 午前10時半~12時

教会で一番大事な集会です。賛美歌を歌ったり、お祈りしたり、心に響くお話を聞きながら、みんなで神に礼拝をささげています。どなたでも参加できます。

皆さん、こんにちは。伊那聖書教会に赴任して6年目になります。妻と子ども4人の6人家族です。お気軽に「大杉さん」「牧師さん」と声を掛けてください。



牧師 大杉 至



チャペルコンサート

「オルガンといっしょに賛美歌を歌おう」

5月11日(日)

開場 午後1:30

開演 午後2:00



どなたでも自由にご来場ください。
入場無料です(席上献金あります)。

プログラム

- ・前奏曲 水短調 (J.S. バッハ)
- ・トッカータ ニ短調 (J.S. バッハ)
- ・コラール前奏曲
「十字架の上に」(J. バッヘルベル)
「父なる御神に」(A.N. フェター)
「御声聞くとて」(J.S. バッハ)
「諸人声上げ」(J.S. バッハ) 他

出演 斉藤とし子

(プロフィール)
徳丸町キリスト教会オルガニスト。諸教会でオルガン、アンサンブル奏者として演奏活動をしている。お茶の水聖書学院音楽科講師。



ひとりで 悩みをかかえこまないで



「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。」(聖書)

以下のようなことでお悩みではありませんか。一度教会へお越しください。
電話でのご相談もうけたまわります。相談は無料です。TEL(0265)72—5564

- ★自分を愛せない。
- ★自分に自信を持ってない。
- ★消したい過去がある。
- ★失敗して立ち直れない。
- ★劣等感から解放されたい。
- ★思い通りにいかない。
- ★不安と孤独感を抱いている。
- ★思いわずらいから解放されたい。
- ★感情をコントロールできない。
- ★わかっているけどできない。
- ★自分の存在価値を見いだせない。
- ★人生をやり直したい。
- ★悩みを打ち明けられる相手がいない。
- ★なんでも話せる人間関係を築きたい。
- ★どうしても受け入れられない人がいる。
- ★ストレスが抜けない。
- ★精神的に追いつめられている。
- ★仕事に限界を超えて、しんどい。
- ★夫婦の間がうまくいっていない。
- ★親子のことで悩んでいる。
- ★子育てに迷っている。
- ★ゆううつだ。
- ★死にたくなることがある。
- ★死ぬのが怖い。
- ★病気にかかって希望がない。
- ★老いていく自分がせつない。
- ★積極的に生きたい。
- ★生きる希望が欲しい。
- ★真理が知りたい。
- ★神を信じてみたい。

ショート・メッセージ⑥ 「喪失と回復～なぜ喪失感を抱くのか～」

人はなにか大事なものを失うとき、寂しさや空しさなどを伴う喪失感を抱くものです。たとえば愛する人に死なれたり別れたりしたとき、若さや健康を失ったとき、富や貴重な物を失ったとき、立場や評価や尊厳を失ったとき、人から無視されたとき、挫折や失敗を経験したとき、そんなときに喪失感を抱きます。小さな喪失感であれば短期間に自力でなんとか乗り越えられるでしょうが、大きな喪失感であれば乗り越えられそうもないと感じて、生きる意味と力を失ってしまうかもしれません。

人はなぜ喪失感を抱くのでしょうか。聖書によれば、そもそも人が神から離れた結果、根本的にそして慢性的に喪失感を抱くようになったということです。人は神に愛される存在として造られたのに、神から離れて自分勝手に生きてしまいました。神の愛を喪失しているので、埋めることのできない潜在的な喪失感が心の奥底にあるのです。そして根本的な回復がなされていないために、喪失体験をきっかけとして、空虚さや悲嘆を経験し、生きる意味と力を喪失するのです。ではどうすれば回復できるのでしょうか。つまりは神と出会い、神に愛される経験によって回復されていくということです。神はイエス・キリストを通してご自身とその愛を私たちに明らかに示してくださいました。

「キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。」(聖書・ヨハネの手紙第一 3章 16節)

喪失感からの回復は、キリストを通してあらわされた神の愛を受け入れることから始まります。大きな喪失感からの回復には時間が掛かるでしょうが、きっと乗り越えられます。そして乗り越えるためにともに歩む誰かが必要です。『慈しみ深き』というよく知られた賛美歌があります。「慈しみ深き 友なるイエスは 罪とが憂いを取り去りたもう心の嘆きをつつまず述べて などは下ろさぬ (どうして下ろさないのですか) 負える重荷を」慈しみ深いイエス・キリストがあなたの友となりそばにすることを信じて、助けを求めてください。教会もあなたの友となって、ともに歩みたいと願っております。



ほっとライン (夜専用・21時～24時) TEL ***—****—**** 牧師 大杉 至

夜になると たまらなく さびしくなる。 そんなとき この携帯に お電話ください。
牧師が あなたの悩みを うかがいます。なお日中は 0265-72-5564 にお電話ください

伊那市伊那部 4492

(ホテルセンピア向い)

TEL (0265)72—5564

牧師 大杉 至

あなたの町の

日本同盟基督教団

伊那聖書教会

(ものみの塔・エホバの証人、統一協会、モルモン教などのカルト宗教団体でお困りの方はご相談ください。)